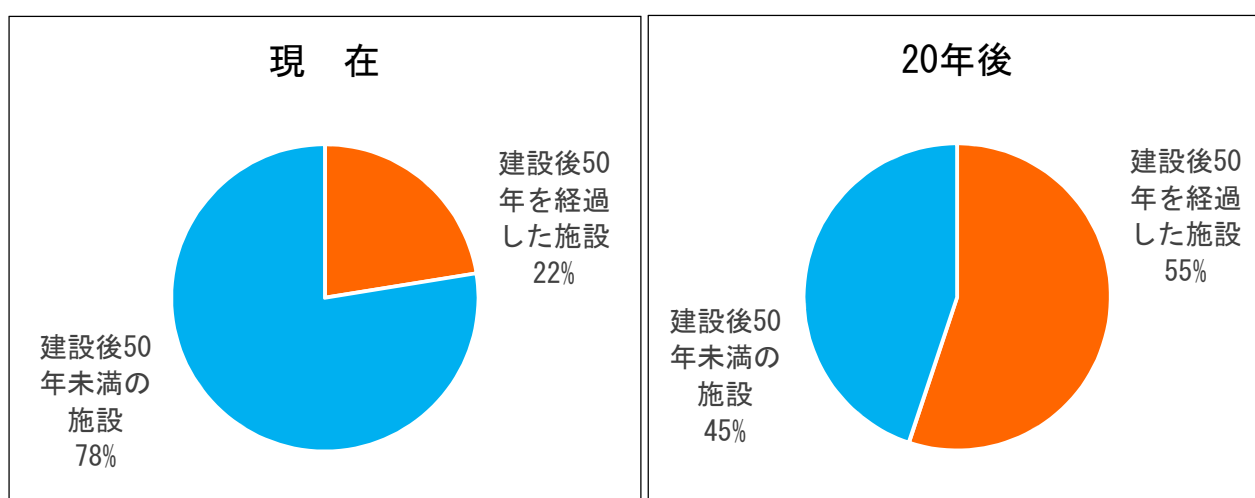


## 港湾施設長寿命化計画について

### 【計画の概要】

県が管理する港湾施設は、高度経済成長期に整備されたものが多く、主要な港湾施設である岸壁（船舶を係留する施設）では、2016年現在、11施設（約22%）が建設後50年が経過しています。20年後には27施設（約55%）に増加する見込みであり、今後、多大な建設・改修費用が必要になると考えられます。

図1 現在及び20年後に50年を経過している施設の割合

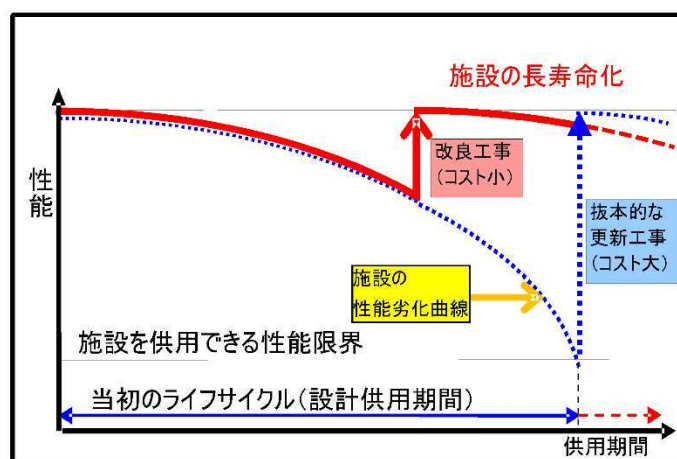


このような背景から、施設の安全性を確保しつつコスト削減を図るため、これまでの対症療法的な対応から予防的で計画的な対応へ方針転換を図っていく必要があります。

そのため、各施設の維持管理を適切に行うための計画である長寿命化計画の策定を行っています。

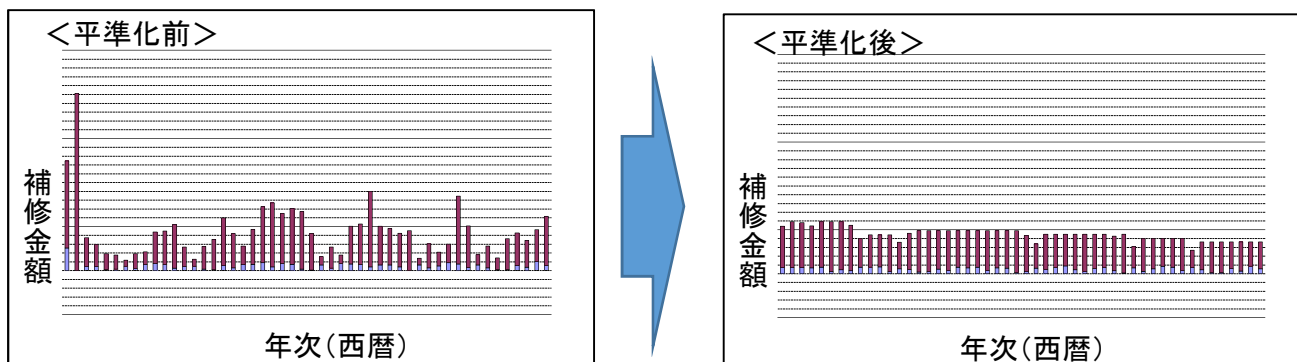
この計画では、施設の更新が必要になる前に簡易な補修を行うことにより、施設の寿命を延ばし、ライフサイクルコストを削減するよう、補修計画を立てています。

図2 ライフサイクルコストの削減イメージ



さらに、1年間の予算は限られていますので、年ごとの補修金額の増減が大きくなならないよう、補修金額の平準化を行っています。

図3 修繕コストの平準化イメージ



### 【計画期間】

長寿命化計画の計画期間は50年とし、この期間内で補修金額等が最小となるよう計画を策定しています。

### 【長寿命化に係る基本的な方針】

国土交通省港湾局が公表している「港湾の施設の点検診断ガイドライン」「港湾の施設の維持管理計画策定ガイドライン」に基づき、点検を実施したのち、長寿命化計画を策定しています。

### 【現在の策定状況】

香川県が管理する全港湾施設 1122 施設のうち、主要な施設である係留施設、防波堤 473 施設全てについて、計画の策定を完了しています。

修繕については、点検の結果、緊急性が高いと判断されたものから順次実施しております。

また、「技術基準対象施設の維持に関し必要な事項を定める告示」により、5年に1度定期点検を行うように定められておりますことから、5年に1度の頻度で定期点検を実施しております。

### 【計画による効果】

長寿命化計画を策定した港湾施設に対して、今後50年間で標準的な耐用年数(50年)を経過した施設全てを更新した場合、更新費用が約987億円になると試算していますが、これに対し、計画に則り補修を行い施設の長寿命化を図った場合、補修費用は約224億円になると試算しており、約77%のコスト縮減が可能となります。

なお、この効果は計画策定時における施設の状況から推計した効果であり、今後の施設の老朽化具合により、補修金額等は変化します。